

平成 25年度 広島市立舟入小学校経営計画

学 校 教 育 目 標

互いに人権を尊重し、協力して実践する、心身共にたくましい子どもの育成
「深く考え、進んで学ぶ子ども」「仲良く助け合う子ども」「いつも元気でやりぬく子ども」

目 指 す 学 校 像 (ビジョン)

- あいさつあふれる、美しい学校
教職員・児童の元気なあいさつが飛び交う学校、清掃が行き届き花いっぱい教育環境の整った学校
- 来校者の多い、地域と交流する学校
保護者・地域と連携して教育に取り組む開かれた学校、地域の教育力を積極的に取り入れ、体験活動を充実させる学校
- 教職員が熱意をもち、協働する学校
教職員がそれぞれの持ち味を活かし、お互いに高め合い、組織として協働して教育活動を進める学校

領 域	中 期 経 営 目 標	短 期 経 営 目 標	具 体 的 方 策
学 力 の 向 上	学習や運動に主体的・意欲的に取り組み、 ねばり強く最後までやり抜くこと のできる児童を増やす。	ねばり強く学習に取り組む児童を育てる。 ・ノートやプリントの文字を丁寧に書く ・学年に応じた漢字の習得(まとめのテストで平均80%) ・学年に応じた計算の定着(まとめのテストで80%・2年生以上は九九の定着95%)	・「書く姿勢」「鉛筆の持ち方」「机上の整え方」「下敷きの使用」等の指導を徹底する。 ・ノートに学習の足跡を残させ、定期的にノートを持ち帰り、保護者にほめてもらう機会を設ける。 ・家庭との連携を深めながら、家庭学習に意欲的に取り組ませよう内容を工夫する。 ・家庭学習をやり切らせる時間を確保する。 ・漢字や計算の学習に視覚的な指導を取り入れる。
豊 か な 人 間 性 の 育 成	江波中学校区5つの合言葉 「あいさつをする」 「時間を大切にする」 「学習や生活の場をきれいにする」 「話をよく聞く」 「自分の思いを伝える」 を実践し、社会参加できる児童を育む。	考えて行動できる児童を育てる。 ・自分から進んであいさつをしたり、元氣よく返事をしたりする ・黙って、最後まで、心を込めて掃除をする ・相手の気持ちを考えた言葉遣いをする	・学年に応じた目標を掲げて取り組む。 (低…元氣よく 中…相手の顔を見て 高…笑顔で) ・児童会で年間3回(4月・10月・1月)あいさつ運動に取り組む。 ・清掃の仕方や清掃用具の扱い方を具体的に指導する。 ・考えて掃除をしている場面は見逃さずしっかりほめる。 ・「掃除振り返り週間」を設け、意識を高める。 ・年度初めに道徳や特活などで言葉遣いについて考える機会をもつ。(相手を傷つける言葉を意識させる) ・児童会で「あったか言葉」にちなんだ標語を募集し(9月)言われて安心できる言葉やうれしい言葉等を掲示して、常に意識させる。
町 ぐ る み に よ る 教 育 の 推 進	地域社会・家庭とのつながりを大切にし、信頼される学校づくりに努める。	教育環境を整え、地域・保護者に学校の教育活動を理解してもらう取り組みを継続する。	・校内に花を増やす。 ・清掃を徹底する。 ・整理整とんをする。 ・地域の人材を活用した教育活動を行う。 ・異校種連携を通して、児童の健全育成を推進し、保・小・中のスムーズな進学を図る。(保育園交流・小中部活交流・小中合同地域清掃等) ・たんぽぽ(学校便り)を月に2回発行する。 ・ホームページの更新をする。(学期3回) ・学年通信・学級通信を発行する。 ・年3回、生活リズムカレンダーに取り組み、生活を振り返らせる。
体 力 の 向 上 と 安 全 な 生 活	生活や健康に関心をもち、生活習慣の改善や運動に 進んで取り組む児童を育てる。	健康・体力作りを推進し、持久力を向上させる。 ・生活リズムカレンダーに意欲的に取り組む ・20mシャトルランの結果が、2月には全国平均に届く ・給食の残食率を前年度より減らす	・週1回元氣っ子タイムに取り組み「体力アップカード」を利用し、体力の向上と調整力を育む。(リズム縄跳び、ラジオ体操、長縄跳び、5分間完走) ・新体力テストの結果から自己の課題を把握させ、家庭と連携をとりながら運動の習慣化を図る。(アクティブチャレンジカレンダー) ・外遊びを奨励する。(大休憩・ロング昼休憩) ・舟入高校との縄跳び交流(7月) ・ドッジボール大会(6月)長縄大会(12月) ・栄養教諭と連携し、食べることの大切さ等について考えることができるよう、食に関する授業に取り組む。 ・「もぐもぐ週間」を実施し、残食の減少に取り組む。